

議員提出議案第19号

中華人民共和国による弾道ミサイル発射に関する抗議決議

上記の議案を提出します。

令和4年10月19日

中野区議会議長 内川 和久 殿

提出者	中野区議会議員	吉田 康一郎
		竹村 あきひろ
		渡辺 たけし
		木村 広一
		内野 大三郎
		若林 しげお
		高橋 かずちか
		中村 延子
		平山 英明
		森 たかゆき
		長沢 和彦

中華人民共和国による弾道ミサイル発射に関する抗議決議

去る8月4日、中国の人民解放軍は台湾周辺で重要軍事演習行動を実施し、弾道ミサイル9発を発射した。そのうち5発が日本の排他的経済水域（EEZ）内に落下した。同軍の弾道ミサイルがEEZ内に落下したのは初めてである。

また、日本領土に最も近かったのはEEZ外ではあるが与那国島の北北西約80キロメートルに落下したものであった。さらに、当該軍事演習海域から波照間島までは僅か60キロメートルしか離れていないと見られ、国民に大きな衝撃を与えると同時に漁業従事者が漁の自粛を余儀なくされ、経済活動にも大きな影響を及ぼしている。

中華人民共和国国防부는、米国下院議長の台湾訪問に対抗した軍事演習であり、米国と台湾の結託に対する威嚇である旨の談話を発表した。このような行動は偶発的な軍事衝突を発生させるおそれもあることから、国際社会の緊張の高まりを招くことになると国民に大きな不安を与えている。

よって、中野区議会は、区民の不安除去や生命・財産と生活環境を守る立場から中華人民共和国政府に対し、日本近海における軍事演習は一切実施しないよう強く要求するとともに、軍事対軍事ではなく、あくまでも平和的な話し合い、外交交渉で解決するよう強く要求する。

上記のとおり決議する。

年 月 日

中 野 区 議 会